

特別展 — 犬山焼 橋本コレクション —  
平成二十七年三月一八日〔水〕— 五月六日〔水〕



# 町方の情趣

橋本道廣氏蒐集の犬山焼コレクションより、約七〇件の犬山焼を展示公開致します。はれの器から茶道具まで、町方の暮らしに華を添えてきた、多彩な犬山焼の姿をご覧ください。

◆ 特別開催

『桜雲茶会』

四月四日〔土〕 一〇時—一五時

岩田家庭園内鈍牛庵にて、犬山焼をたのむ茶会を催します。開催当日は犬山祭試楽祭の日でございますので、是非この機会に足をお運びくださいませ。

席主：表千家 武田美代子

前売券一〇〇〇円／当日券一一〇〇円

(いずれも入館料を含みます)



公共交通機関の場合 犬山駅下車、西口より徒歩2分  
お車の場合 名神高速道路・小牧ICより、国道41号線経由25分  
駐車場4台(内障害者専用1台)有

財團法人 岩田洗心館

〒四八四-〇〇八 愛知県犬山市大字犬山字富士見町二二  
TEL 0568-61-1634 <http://www.iwasenshin.jp>

## ごあいさつ

犬山焼は文化七(1810)年、犬山上本町の島屋宗九郎<sup>しまやそうくろう</sup>という人物によって城の東、丸山新田に窯が築かれたことにはじまりました。江戸時代末期にあたる文化・文政期は“化政文化”と総称される町人文化の花開いたことで知られますが、尾張藩付家老・成瀬氏のお膝元であった犬山城下においてもまた、町衆が富み栄え、高い文化水準を誇った時期でありました。当時、ひとりの町方<sup>まちかた</sup>を窯主に開窯した丸山窯は、初期こそその操業内容はあきらかにされておりませんが、成瀬家の御用窯的存在として、後に雲錦手<sup>うんきんで</sup>、呉州赤絵写しなどの意匠を取り入れることに成功し、廃藩後、その経営が個人の手<sup>て</sup>に委ねられて以降も、幾度もの廃窯の危機を乗り越え、今日に至っております。

この度は、橋本廣道氏のご協力を得て、その個人コレクションの中から、70件を超える犬山焼の品々を展示いたします。ながく、地元町方の暮らしに華を添えてきたであろう犬山焼の、カラフルで、どこか親しみを覚えずにはいられないユーモラスな世界を、心ゆくまでご堪能いただけましたらば幸甚に存じます。

末筆ながら、本展を開催するにあたり、深いご理解をお示しいただきました橋本道廣氏をはじめ、ご協力を賜りました関係各位に、深く厚く御礼申し上げる次第でございます。

平成二十七年三月 一般財団法人岩田洗心館